



吉野川現地案内ツアー



江戸中期～昭和初期の85棟の伝統的建造物が建ち並びます

藍の集積地として栄えた脇町。うだつを掲げた歴史的な町並みを探訪

後半は美馬市の脇町うだつの町並みへ。観光ボランティアガイドの案内で歴史ツアーを楽しみました。

吉野川の水運に恵まれた脇町は、江戸中期、藍の集積地として栄えに栄えました。財を成した藍商人達は、本瓦葺き、漆喰塗り、そして隣家との境に「うだつ（卯建）」と呼ばれる袖壁を掲げた重厚な屋敷を構えました。脇町うだつの町並みは、江戸時代中期から昭和初期にかけて建てられたこうした屋敷が43mにわたって建ち並び通ります。



A 吉田家住宅の鬼瓦。ひとつだけ舌を出しているのがあり、「あっかんべえの鬼瓦」と呼ばれています
B 高さを競い合ううだつ
C 吉野川を往来していた船を解体してリサイクルした船板壁。丈夫で湿気にも強いとか

昭和63年（1988）に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。「ほら、あのうだつは屋根と離れていくでしょう？あれは『飾りうだつ』なんです」とガイドの石田さん。もともとは防火壁として造られたうだつですが、やがて富の象徴となり、商家は競うように立派なうだつを掲げるようになりました。「うだつが上がる」という言葉はここからきているんですね——時代に



「道の駅藍ランドうだつ」からうだつの町並みへ。かつてはここを吉野川が流れており、荷の上げ下ろしを行った船着場の跡が残っています

よる建築様式の違いやエピソードを軽妙な語り口で案内していただき、約40分のツアーはあっという間に！友人と参加の牛田陽子さんは「これまでも何度か来たけれど、ガイドしてもらったのは初めて。勉強になったし、とてもおもしろかった」と笑顔で話してくれました。



小松島市の牛田陽子さん（左）と藍住町の十川直美さん。歴史探訪の後は、もうひとつのお目当ての御当地スイーツを堪能

徳島大学のサークル仲間の澤近晏矢さん、山口美貴さん。歴史学・民俗学に興味がある澤近さん、熱心にメモをとっていました



講演会



YouTubeにて、まるごと吉野川“魅力再発見”講座のアーカイブ配信を行います。見逃したあの講演をCLICK!

吉野川魅力満載物語

～人と川のつながりを学ぶ～

令和3年度講演会



吉野川ファン通信「ふる～ぶ」元編集者でフリーアナウンサーの**藪田ひとみ**さんが、10年間にわたる取材・編集を通じて知った自然、歴史、人など吉野川のさまざまな魅力について語ります。



<https://www.youtube.com/watch?v=yN6Xkr2AAy0>

コウノトリが棲む地域づくり

吉野川流域における希少鳥類の保護と地域活性化の取り組み

令和4年度講演会



NPO法人 とくしまコウノトリ基金事務局長の**芝折史昭**さんを講師に、徳島におけるコウノトリの保護と、地元の農家や企業と連携した地域活性化の取り組みについてお話しくださいました。



<https://www.youtube.com/watch?v=NUca6hMKOvM>